

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 アビックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7836 URL http://www.avix.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣田 武仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 桐原 威憲 (TEL) 045-670-7720  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,727	12.1	271	57.7	106	583.8	104	867.4	80	—
2023年3月期	3,325	85.0	172	612.7	15	—	10	—	△7	—

(注) 包括利益 2024年3月期 92百万円(—%) 2023年3月期 △16百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	2.29	—	5.3	3.6	2.9
2023年3月期	△0.22	—	△0.5	0.4	0.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 5百万円 2023年3月期 -1百万円

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,797	1,554	55.4	44.14
2023年3月期	3,056	1,465	47.9	41.65

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,550百万円 2023年3月期 1,463百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	603	△38	△283	702
2023年3月期	△513	△129	189	421

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	7.3	290	6.8	120	12.8	114	9.2	89	11.2	2.54

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	35,129,566株	2023年3月期	35,129,566株
② 期末自己株式数	2024年3月期	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	35,129,566株	2023年3月期	35,129,566株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,578	12.7	96	519.0	89	867.2	69	—
2023年3月期	3,175	86.6	15	—	9	—	△10	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	1.96		—					
2023年3月期	△0.29		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	2,618		1,611		61.5		45.86	
2023年3月期	2,908		1,539		52.9		43.83	

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,611百万円 2023年3月期 1,539百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断くださるようお願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類から5類へ移行されたことにより、経済活動の正常化、賃上げやインバウンド消費の拡大等も影響し、景気は緩やかな回復基調となっており、一方で、原材料及び資源価格の高騰や円安の進行による諸物価の上昇やウクライナ情勢の長期化、昨秋に勃発した中東地域での紛争と、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、広告業界における国内総広告費は、通年で7兆3,167億円（前年比103.0%）と、前年に続き過去最高を更新しました。媒体別で見ると社会の急速なデジタル化を背景に、インターネット広告費は総広告費の45.5%を占めており、大きく成長を続けています。プロモーションメディア広告費のうち、屋外や交通のメディアについても、前年を上回っており、プロモーションメディアの成長に寄与しました。

このような状況の中、当社グループは、「デジタルサイネージ業界No. 1」を掲げ、積極的な拡大策を展開してまいりました。円安の影響による仕入価格の上昇や、マーケットにおける価格競争の影響など、厳しい環境は続いておりますが、デジタルマーケティングに注力しWebからの情報収集を強化することにより、新しいマーケットを開拓することができており、新規顧客の獲得にも繋がりました。また、既存のマーケットについても、大型商業施設や小売店舗、スポーツ関連施設など案件数は大きく増加いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高3,727,381千円（前年同期比12.1%増）、営業利益106,366千円（前年同期比583.8%増）、経常利益104,744千円（前年同期比867.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益80,365千円（前年同期は7,785千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。また、当連結会計年度におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

#### ①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門では主にデジタルサイネージのリース、運営部門ではデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門ではデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース部門、運営部門につきましては、リースや月額利用料の契約といったサブスクリプションサービスであることから、契約の増加が安定的な収益につながっております。特に、CMS（コンテンツマネジメントシステム）「DiSi cloud」は堅調に推移しており、契約数、売上ともに増加いたしました。今後も「DiSi cloud」を軸とし、AIサイネージソリューション等を連携したデジタルプラットフォーム「MiRAi PORT」を積極的に展開してまいります。

情報機器部門につきましては、為替の変動等により、仕入価格の高騰などの影響はありますが、小売店、飲食店、学習塾など多くの業界で受注できております。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高3,601,514千円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益101,271千円（前年同期比は791.8%増）となりました。

#### ②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、自ら運営するハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者、各種SNSサービスの活用やターゲットユーザーに響くコンテンツ（記事、動画）制作により、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。当事業はサブスクリプションモデルの事業が中心となっていることもあり、前期に引き続き安定的に収益を計上することができていることに加え、ノウハウを活用したコンサルティングなど新たなサービスの提供もスタートしております。

以上の結果、Value creating事業は、売上高125,867千円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益5,094千円（前年同期比21.3%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は2,797,382千円となり、前連結会計年度末に比べ259,553千円減少しました。

流動資産は、2,049,051千円となり、前連結会計年度末に比べ127,480千円減少しました。主な要因は、売掛金が減少したことです。

固定資産は、748,330千円となり、前連結会計年度末に比べ132,073千円減少しました。主な要因は、償却によるのれんの減少及びリース資産が減少したことです。

### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,243,101千円となり、前連結会計年度末に比べ348,578千円減少しました。

流動負債は、687,091千円となり、前連結会計年度末に比べ340,099千円減少しました。主な要因は買掛金及び短期借入金が減少したことによるものです。

また、固定負債は、556,010千円となり、前連結会計年度末に比べ8,479千円減少しました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

### (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は1,554,281千円となり、前連結会計年度末に比べ89,024千円増加しました。主な要因は、当期純利益の計上によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ281,222千円増の702,466千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりです。

### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益104,559千円の計上や、のれん償却額107,164千円、売上債権の減少417,110千円があり、仕入債務の減少91,765千円等があったものの、603,084千円の収入（前年同期は513,864千円の支出）となりました。

### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出41,315千円等により、38,563千円の支出（前年同期は129,118千円の支出）となりました。

### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入200,000千円があったものの、長期借入金の返済による支出265,817千円や、短期借入金の返済による支出200,000千円等により、283,299千円の支出（前年同期は189,553千円の収入）となりました。

## (4) 今後の見通し

当社グループは、デジタルマーケティング・代理店との連携強化による大型LEDの販売強化や、サブスクリプションサービスが主となるデジタルプラットフォーム「MiRAi PORT」の拡大展開、Value creating事業の更なる成長を図ってまいります。これらにより、次期連結会計年度（2025年3月期）は連結売上高4,000百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益120百万円（前年同期比12.8%増）、経常利益114百万円（前年同期比9.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益89百万円（前年同期比11.2%増）を計画しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期につきまして、諸情勢を考慮しながら検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	421,244	702,466
受取手形	13,193	9,640
電子記録債権	89,947	106,765
売掛金	1,236,845	804,356
商品及び製品	202,731	154,582
仕掛品	8,091	23,380
原材料	3,727	3,613
前渡金	187,538	229,834
その他	14,169	14,431
貸倒引当金	△955	△17
流動資産合計	2,176,532	2,049,051
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	24,607	28,531
減価償却累計額	△3,739	△5,365
建物附属設備(純額)	20,868	23,165
車両運搬具	2,550	2,550
減価償却累計額	△1,835	△2,074
車両運搬具(純額)	714	476
工具、器具及び備品	414,560	445,163
減価償却累計額	△328,020	△348,961
工具、器具及び備品(純額)	86,539	96,202
レンタル資産	203,305	175,338
減価償却累計額	△196,473	△162,631
レンタル資産(純額)	6,832	12,706
リース資産	81,930	27,947
減価償却累計額	△59,664	△20,634
リース資産(純額)	22,265	7,312
有形固定資産合計	137,220	139,864
無形固定資産		
のれん	598,336	491,172
その他	44,852	21,443
無形固定資産合計	643,188	512,615
投資その他の資産		
投資有価証券	45,482	60,489
その他	54,513	35,360
投資その他の資産合計	99,995	95,850
固定資産合計	880,404	748,330
資産合計	3,056,936	2,797,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	321,609	229,843
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	250,817	199,730
リース債務	14,599	5,151
未払法人税等	14,478	17,900
賞与引当金	25,609	30,807
前受金	125,891	75,542
その他	74,185	128,114
流動負債合計	1,027,190	687,091
固定負債		
長期借入金	389,755	375,025
リース債務	10,567	3,222
繰延税金負債	13,302	27,328
預り保証金	150,000	150,000
その他	865	434
固定負債合計	564,489	556,010
負債合計	1,591,680	1,243,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	617,740	615,454
利益剰余金	△355,842	△275,477
株主資本合計	1,469,461	1,547,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	711	3,088
繰延ヘッジ損益	△7,056	—
その他の包括利益累計額合計	△6,344	3,088
非支配株主持分	2,139	3,650
純資産合計	1,465,256	1,554,281
負債純資産合計	3,056,936	2,797,382

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,325,662	3,727,381
売上原価	2,372,117	2,674,524
売上総利益	953,544	1,052,856
販売費及び一般管理費	937,988	946,490
営業利益	15,555	106,366
営業外収益		
受取利息	1,205	1,205
受取配当金	213	270
持分法による投資利益	—	5,198
為替差益	1,712	—
その他	562	559
営業外収益合計	3,694	7,234
営業外費用		
支払利息	8,255	8,099
為替差損	—	512
その他	168	245
営業外費用合計	8,423	8,857
経常利益	10,827	104,744
特別損失		
固定資産除却損	—	184
特別損失合計	—	184
税金等調整前当期純利益	10,827	104,559
法人税、住民税及び事業税	6,981	8,975
法人税等調整額	12,992	12,992
法人税等合計	19,974	21,968
当期純利益又は当期純損失(△)	△9,147	82,591
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△1,361	2,225
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△7,785	80,365



連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△9,147	82,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	2,376
繰延ヘッジ損益	△7,056	7,056
その他の包括利益合計	△7,091	9,433
包括利益	△16,238	92,024
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△14,876	89,799
非支配株主に係る包括利益	△1,361	2,225

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価 証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	1,207,564	617,740	△348,057	1,477,246	746	—	746	3,501	1,481,494
当期変動額									
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親 会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△7,785	△7,785					△7,785
連結子会社株式の取 得による持分の増減				—					—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					△34	△7,056	△7,091	△1,361	△8,453
当期変動額合計	—	—	△7,785	△7,785	△34	△7,056	△7,091	△1,361	△16,238
当期末残高	1,207,564	617,740	△355,842	1,469,461	711	△7,056	△6,344	2,139	1,465,256

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価 証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	1,207,564	617,740	△355,842	1,469,461	711	△7,056	△6,344	2,139	1,465,256
当期変動額									
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親 会社株主に帰属する 当期純損失(△)			80,365	80,365					80,365
連結子会社株式の取 得による持分の増減		△2,286		△2,286					△2,286
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					2,376	7,056	9,433	1,511	10,945
当期変動額合計	—	△2,286	80,365	78,079	2,376	7,056	9,433	1,511	89,024
当期末残高	1,207,564	615,454	△275,477	1,547,541	3,088	—	3,088	3,650	1,554,281

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	10,827	104,559
減価償却費	49,366	57,905
のれん償却額	107,164	107,164
有形固定資産除却損	—	184
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	581	△938
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,125	5,198
受取利息及び受取配当金	△1,419	△1,475
支払利息	8,255	8,099
持分法による投資損益 (△は益)	—	△5,198
売上債権の増減額 (△は増加)	△826,667	417,110
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△131,674	24,809
仕入債務の増減額 (△は減少)	156,731	△91,765
前渡金の増減額 (△は増加)	△103,678	△42,295
預り保証金の増減額 (△は減少)	150,000	—
その他	79,835	34,189
小計	△503,803	617,547
利息及び配当金の受取額	1,419	275
利息の支払額	△8,232	△7,756
法人税等の支払額	△3,247	△6,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	△513,864	603,084
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△72,757	△41,315
無形固定資産の取得による支出	△24,914	△1,203
投資有価証券の取得による支出	△31,379	△1,428
関係会社株式の取得による支出	—	△4,970
差入保証金の差入による支出	—	△5,299
差入保証金の回収による収入	—	15,653
その他	△67	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,118	△38,563
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	200,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△292,810	△265,817
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△3,000
リース債務の返済による支出	△17,636	△14,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	189,553	△283,299
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△453,430	281,222
現金及び現金同等物の期首残高	874,674	421,244
現金及び現金同等物の期末残高	421,244	702,466

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「デジタルサイネージ関連事業」、「Value creating事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デジタルサイネージ関連事業」は、デジタルサイネージの製造・販売・リース・メンテナンス、デジタルサイネージ向けのソリューション及びサービスを提供しております。

「Value creating事業」は、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計方針は、連結財務諸表と同一であります。セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2022年4月1日至2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び業績は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	3,211,179	114,482	—	3,325,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,298	—	△4,298	—
計	3,215,478	114,482	△4,298	3,325,662
セグメント利益	11,356	4,199	—	15,555
セグメント資産	2,466,919	39,962	550,054	3,056,936
その他の項目				
減価償却費	46,831	147	2,387	49,366
のれん償却費	107,164	—	—	107,164
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	96,776	895	—	97,672

(注) 1 調整額は以下の通りであります。

(1) セグメント売上高の調整額4,298千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額550,054千円は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

当連結会計年度(自2023年4月1日至2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び業績は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	3,601,514	125,867	—	3,727,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,981	1,604	△4,585	—
計	3,604,496	127,471	△4,585	3,727,381
セグメント利益	101,271	5,094	—	106,366
セグメント資産	1,938,556	27,802	831,023	2,797,382
その他の項目				
減価償却費	54,003	262	3,638	57,905
のれん償却費	107,164	—	—	107,164
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	43,632	342	9,592	53,567

(注) 1 調整額は以下の通りであります。

(1) セグメント売上高の調整額4,585千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額831,023千円は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	41円65銭	44円14銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△0円22銭	2円29銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,465,256	1,554,281
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,139	3,650
(うち新株予約権(千円))	—	—
(うち非支配株主持分(千円))	△2,139	△3,650
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,463,116	1,550,630
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	35,129,566	35,129,566

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は、 当期純損失(△)(千円)	△7,785	80,365
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期利益又は、 当期純損失(△)(千円)	△7,785	80,365
普通株式の期中平均株式数(株)	35,129,566	35,129,566